

グリーン産業国際博覧会

中国・山東省人民政府主催

2006年 9月7日～ 出展・参加者を募集中

中国・山東省人民政府主催の「第2回山東省グリーン産業国際博覧会」が2006年9月7日（木）から9日（土）までの3日間、中国済南国際展示センターで開催される。

山東省では『山東エコ省建設計画綱要』に基づき、2010年を目標に環境保護、エコ建設、循環経済を重点とするプロジェクトを進めている。

2004年に青島で開催された第1回グリーン産業国際博覧会には日本、アメリ

カ、韓国、ドイツ、イタリア、カナダ、フランス、デンマーク、スイス、シンガポールなど60を超える外国企業と800にのぼる国内企業が参加。金額ベースで2600億円の契約が成立するなど大きな成果をあげた。

今回の第2回グリーン博では、循環経済の発展、公平な市場の構築、需要と供給についての交流の場の構築というテーマが掲げられている。博覧会で同時開催される「エコ省建設フォーラム」では、

国内外の循環経済やエコ経済分野における専門家による最新の研究成果や技術が紹介される。

出展の対象は、環境保全技術・製品、クリーン生産技術、資源综合利用、環境モニタリング、環境サービス、生態環境再生技術など広範囲に及んでいる。出展費用は国際標準ブース1小間US\$3000/9㎡。

山東省で開催されるグリーン産業国際博覧会は、国際的にも注目されている中国の環境市場進出、新たな市場開拓、将来への事業発展へ向けての足がかりを得る絶好の機会といえる。

出展申込みと問い合わせは日本テピア株式会社（日本企業出展・参加募集総代理）大阪本社06-6533-8018（担当＝津田）東京支社03-5857-4862（担当＝富川）。総代理を通じての申込みの場合、出展規模により優遇措置がある。

<http://www.tepia.co.jp>

平和環境健康特区の設置を

～松江市で申請特別シンポ～

財団法人自然科学研究所は3月10日、「平和環境健康特別区」申請特別シンポジウムを松江市のくにびきメッセで開催した。同研究所は健康・環境・平和をテーマにセミナー開催や書籍出版などに取り組みしており、平成17年6月には鳥取県米子市とその周辺地域を「平和環境健康特別区」とする申請書を小泉首相あてに提出している。今回はその内容を中心に討議したもので、中国や韓国、国内の関係者ら約400名が出席した。

冒頭、小松昭夫・同研究所理事長（小松電機産業㈱社長）が「北の玄関口の中海圏から中国・四国平和州の構想、『和』の生まれる事業を提案していきたい」と挨拶。来賓の李殿魁・中国山東省日本学会会長、金顯哲・韓国江南ケーブルテレビ顧問、小山秀夫・光洋電子工業㈱相談役が期待を寄せた。

第1部講演では「『和譲』の心で平和

を」について、孫衛東・山東社会科学院外事処副所長、李斑錫・韓国(株)環境蘇生EMBC会長が「協力と競争の関係で共に発展を」「共存・平和の構築が必要」などと語った。

また、パネルディスカッションでは「北東アジアから平和のモデルを」をテーマに、コーディネーターを小松理事長、パネリストを劉淑琪・山東省日本学会理事、韓国の金氏、はばこういち・放送ジャーナリストが務めた。

この中で「日中関係は『政冷経冷』の



国内外の関係者400名が出席

現象も見られる」「3国が歴史・文化の相互理解を」「平和がないと発展は成り立たない」などとともに、地球環境に関連して「水循環の重要性を世界中で考えていく必要がある」などの意見が出された。



あいさつする小松理事長